

II 医学史研究会總會  
III 医学史研究会懇親会

【第二日】

I 一般演題

- 一、医の近代—英国の例……………栗本 宗治(西宮市)
- 二、大阪除痘館公館化の意味……………浅井 允晶(堺女子短大)
- 三、E・ペルツとツツガムシ病……………安井 宏(愛知県)
- 四、古代の医療制度……………上坂 良子  
— 医疾令を中心に……………昭和美大・鳥山  
病院付属看護専  
門学校
- 五、中国あん摩史について……………山本 徳子(横浜市大医史学)
- 六、精神医学史の比較研究(2)……………松田 方一(奈良市吉田病院)  
— 18世紀イギリスを中心に—
- 七、イタリアルネッサンス期……………杉立 義一(京都市)  
における解剖
- 八、新出の『異本病草紙』古模本……………宗田 一(京都市)
- 九、大野藩旧蔵の「エレキテ……………岩治 勇一(大野市)  
ル」について
- 一〇、複製「芝蘭堂新元会図」……………寺畑 喜朗(金沢医大)  
(金沢大医学部蔵)
- 一一、因伯郎考(その一)……………森 納(鳥取県)
- 一二、臨床教育が開始されて……………石田 純郎(三菱水島病院)  
三五〇周年—ライデン  
・シンポジウム(一九  
八六、八)より
- 一三、日本医療団 殊に愛知……………佐久間温巳(西尾市民病院)  
県におけるその活動に  
ついて

一四、J.P. Sabinich & L.A. ……飯淵 康雄(琉球大学医学部)  
Orielet の学問的かつ  
がりについての批判的  
研究—生命表を軸にし  
て—

一五、一六八六年の医学—ルイ……………大村 敏郎(慶応大医史学)  
—一四世の痔瘻手術をめ  
ぐって—

一六、抜歯に用いる学について……………杉本 茂春(大阪市)  
一七、中村舜の作品から……………小松 良夫(寝屋川市)  
—「血を吐く男」など—

日本医史学会広島支部総会ならびに研究発表会

日時 昭和六十二年二月二十五日(水) 午後六時四十五分  
場所 広島医師会館 三階 健康教育室

一 日本医史学会広島支部総会  
二 研究発表

- 1 東広島市出身の医哲について……………江川 義雄
- 2 私の見た東西文明における  
医療の進歩とその矛盾の一端……………小川 新
- 3 広島山口にわたる曲直瀬道三の  
門弟と富樫文周について……………末田 尚  
日本医史学会広島支部長……………西本 幸男